

きらり★ 地域の



きらりの会の活躍はきらりカフェ

だけに留まりません。昨年10月には、創作朗読劇「千畝と幸子 命のピザ」を披露しました。杉原千畝氏の人道精神を地元から発信するため、可児市で朗読活動をしている「夏の会」とタッグを組んで、制作・出演・舞台演出までを自分たちで行い、満員のお客さまの前で上演、おさな感動を呼びました。

8ヶ月の時を経て、その朗読劇を6月9日(金)、八百津中学校の全校生徒の前で再上演しました。

きらりの会からは朗読出演6名、歌での出演9名、音響・照明などのスタッフ4名が参加しました。

5月の中旬から何度も練習のために集まり、リハーサルを重ね、当日に臨んだきらりの会のみなさん。中学生の柔らかな感性に、どのように

響いたのでしょうか。

実際に鑑賞した中学生の感想です。

「きらりの会、夏の会の方々がおこく気持ちを込めて朗読されていて、強調したい部分などを強く言っていて、鳥肌が立ちました。幸子さんの目線から見た千畝さんの話が聞けてよかったです。(3年生女子)」

「僕は、千畝と幸子の朗読劇を聞いて、幸子という人はどんなことをした人か知らなかったけれど、千畝さんがピザを書くのを幸子さんが書いていいと決めてくれたおかげで多くのユダヤ人が生きられたので幸子さんはとてもすごい人だと思いました。(3年生男子)」

地元の偉人である杉原千畝氏について、そして人道精神について、改めて考える良い機会となったようです。

この朗読劇は今後も上演していくそうなので、みなさんにも、ぜひご覧いただきたいです。

錦津地区以外でも以前にはなかった活動が始まっています。

「和知軽トラ朝市」は、今年から始まった新しい取り組みです。

毎月第1・第3土曜日の朝8時30分から11時30分まで、和知センター北側駐車場で開催しています。和知地区の農家の方が作った新鮮な野菜を始め、お米やはちみつ、八百津せんべいなどがお値打ち価格で軽トラの荷台に並びます。

地域の取り組みでは、「交流」がキーワードとなります。徐々に薄れつつある人と人とのつながりを大切にしたいと願っています。